

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成23年度分）

団体名：京丹後市

プロジェクト名	快適・安全・交流都市形成プロジェクト	実施期間	H23～H26	テーマ	まちの安心・安全	新規・継続の区分	新規
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>本市は、京都府の最北端にあって、道路整備が遅れており、都市部との交流・交通基盤が弱い状況である。こうした中で、地域公共交通の大動脈であるKTRは、産業・観光振興はもとより、自動車などの移手段をもたない人にとって必要不可欠なものであり、KTRの維持及び活性化は最重要課題のひとつである。</p> <p>また、本市においては平成16年の台風23号や平成18年の間人土砂災害など大規模な災害を経験していることに加え、平成23年3月の東日本大震災という未曾有の大災害が発生したことにより、ますます防災に対する市民の関心が高まっていることから、これまで以上に高度かつ地域に密着した防災体制を備えることが求められている。</p> <p>さらに、快適で安全な生活を送るうえで欠かせない防犯・交通安全対策についても、行政と市民が一体となって総合的に実施し、犯罪を未然に防止するとともに、交通事故の徹底防止を図る必要がある。</p> <p>地域住民においても自治会、NPO等を通じ、快適・安全なまちづくりのための取り組みが活発に行われており、住民ニーズは高い。</p>						
プロジェクトの目的及び概要	<p>市民にとっては住みやすく、訪れる人には住んでみたいと思える、快適で魅力あるまちづくりのため、公共交通の利便性の向上など都市基盤の整備に努めるとともに、防犯・防災体制の強化に取り組み、災害に強く、快適で暮らしやすいというおい安全都市の実現を目的とする。</p>						
	総事業費（千円）	74,366	本年度事業費（千円）	16,590	交付金額（千円）		6,925

プロジェクトを構成する事業の平成23年度事業実績（出来高数値等）

事業分類	事業名	事業種別	事業概要	主な実績（出来高数値等）
市町村 実施事業	みんなでKTRを考える住民参加シンポジウム開催事業	交付対象事業	KTRの役割と現状を再認識し、KTRを守るために何ができるのかを考えるきっかけとするためにシンポジウムを開催する。	KTRの役割と現状を再認識し、KTRを守るために何ができるのかを考えるきっかけとするためにシンポジウムを開催した。
	KTR高齢者利用促進片道上限200円乗車社会実験事業	交付対象事業	65歳以上の市民が土・日・祝日にKTRをどの区間でも片道200円で乗車できる社会実験を実施する。	65歳以上の市民が土・日・祝日にKTRをどの区間でも片道200円で乗車できる社会実験を実施した。
	高齢者運転免許証自主返納奨励品支給事業	交付対象事業	自動車運転免許証を自主返納した70歳以上の市民にKTRのシルバー全線定期券（3か月有効）を交付する。	自動車運転免許証を自主返納した70歳以上の市民にKTRのシルバー全線定期券を交付した。（23人）
	KTR沿線花いっぱい化植栽事業	交付対象事業	福田川橋りょう付近（網野町）にシバザクラを植栽しKTRのイメージアップを図る。（峰山駅～網野駅区間）	福田川橋りょう付近（網野町）にシバザクラを植栽しKTRのイメージアップを図った。（峰山駅～網野駅区間）
	市職員通勤定期券利用運動	関連事業	KTR通勤が可能な職員が定期券（1か月間以上）を購入し、KTR通勤を行う。	KTR通勤が可能な職員が定期券（1か月間以上）を購入し、KTR通勤を行った。
	駅前市営駐車場管理事業	関連事業	KTRの利用促進に効果があるパーク＆ライドに活用できる駅付近の市営駐車場の維持管理を行う。	KTRの利用促進に効果があるパーク＆ライドに活用できる駅付近の市営駐車場の維持管理を行った。（6か所）
	防犯灯設置事業	関連事業	市内集落間の防犯灯を整備し、夜間の交通事故防止及び防犯不安箇所の解消を図る。	市内集落間の防犯灯を整備し、夜間の交通事故防止及び防犯不安箇所の解消を図った。（1灯）
	多重債務支援相談員・市民相談員設置事業	関連事業	多重債務問題や消費生活問題等について、専任相談員による相談窓口を設置する。	多重債務問題や消費生活問題等について、専任相談員による相談窓口を設置し、相談・支援活動を行った。（413件）
	女性相談事業	関連事業	DVや離婚、子育てなど女性の抱える問題に関する相談窓口を設置する。	DVや離婚、子育てなど女性の抱える問題に関する相談窓口を設置した。（月2回開設、延べ利用者51人）
	防犯委員会設置事業	関連事業	犯罪のないまちづくりを推進するために、市民が構成員となる防犯委員会を設置する。	犯罪のないまちづくりを推進するために、市民が構成員となる防犯委員会を設置した。（委員31人）
交通安全指導員設置事業	関連事業	市民から交通安全指導員を委嘱する。交通安全教室を行うなど、交通安全意識の向上と交通事故防止を図る。	市民から交通安全指導員（12人）を委嘱し交通安全教室を行うなど、交通安全意識の向上と交通事故防止を図った。	
消費生活センター運営事業	関連事業	消費生活問題等について、専任相談員による相談窓口を設置するとともに、市民に対する情報提供・啓発活動を行う。	消費生活問題等について、専任相談員による相談窓口を設置するとともに、市民に対する情報提供・啓発活動を行った。	

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成23年度分）

団体名：京丹後市

プロジェクト名	快適・安全・交流都市形成プロジェクト		実施期間	H23～H26	テーマ	まちの安心・安全	新規・継続の区分	新規
市町村 実施事業	全国女性消防操法大会出場事業	交付対象事業	財団法人日本消防協会が主催する「第20回全国女性消防操法大会」に出場する。（H23年10月19日、横浜市）			財団法人日本消防協会が主催する「第20回全国女性消防操法大会」に出場した。（H23年10月19日、横浜市）		
	地域防災計画修正事業	関連事業	東日本大震災を踏まえ、津波対策や原子力発電所事故関連について地域防災計画を修正する。			東日本大震災を踏まえ、津波対策や原子力発電所事故関連について地域防災計画を修正した。		
	緊急防災対策事業	交付対象事業	東日本大震災を踏まえ、地震・津波を想定した総合防災訓練を実施するほか、防災講演会を開催するとともに沿岸域の避難所に標高標識を設置する。			東日本大震災を踏まえ、地震・津波を想定した総合防災訓練を実施した。また、防災講演会を開催するとともに沿岸域の避難所に標高標識を設置した。		
	災害備蓄物資購入事業	関連事業	東日本大震災を踏まえ、災害備蓄物資を追加購入する。			東日本大震災を踏まえ、災害備蓄物資（カイロ等）を追加購入した。		
	消火栓整備事業	関連事業	緊急度及び地域の実情を考慮し、計画的に消火栓を整備する。			緊急度及び地域の実情を考慮し、計画的に消火栓（地上式17基、地下式27基）を整備した。		
	峰山都市下水路浸水被害対策事業	交付対象事業	近年のゲリラ豪雨の際、峰山町風呂川上流部において住宅浸水被害が頻発しているため、浸水対策を実施する。			峰山町風呂川上流部において住宅浸水対策として護岸維持工事を実施した。		
住民 協働事業	KTR高齢者利用促進商品券発行事業補助金	交付対象事業	片道200円乗車社会実験の利用者に市内商店で利用できる2,000円分の商品券を1,800円で購入できる引換券を発行する。（市商工会実施）			片道200円乗車社会実験の利用者に市内商店で利用できる2,000円分の商品券を1,800円で購入できる引換券を発行した。		
	KTR利用促進通勤定期券購入費補助金	関連事業	新たにKTR通勤定期券を購入した従業員がいる市内事業者に購入費の3割を助成する。			新たにKTR通勤定期券を購入した従業員がいる市内事業者の実績がなかった。		
	KTR利用促進啓発事業	関連事業	KTRの利用促進を図るため、のぼり旗を設置するとともに、啓発ポスターを掲示する。			KTRの利用促進を図るため、のぼり旗を設置するとともに、啓発ポスターを掲示した。		
	語り部列車運行事業	関連事業	久美浜の名所を巡る日帰りツアーを運行する。座敷席のラッピング列車にガイドが同乗し、参加者をもてなす。			久美浜の名所を巡る日帰りツアーを運行した。また、座敷席のラッピング列車にガイドが同乗し、参加者をもてなした。		
	防犯灯設置事業補助金	交付対象事業	各地区が行う集落内の防犯灯設置を支援し、夜間の交通事故防止及び防犯不安箇所の解消を図る。			各地区が行う集落内の防犯灯設置を支援し、夜間の交通事故防止及び防犯不安箇所の解消を図った。（87灯）		
	「社会を明るくする運動」きょうたんご市民のつどい開催事業	関連事業	「社会を明るくする運動」の啓発を進めるため、イベントを開催する。			犯罪のない安全で安心なまちづくりを推進し、社会を明るくする運動の啓発を進めるため、イベントを開催した。		
	消費生活グループ活動費補助金	関連事業	消費生活問題等に関する学習会や、地域イベント及び老人会での啓発活動を支援する。			消費生活問題等に関する学習会や、地域イベント及び老人会での啓発活動を支援した。（消費生活会員数179人）		
	自主防災組織支援事業補助金	交付対象事業	自主防災組織による防災資機材の購入等を支援する。（上限額：1団体80千円）			自主防災組織による防災資機材の購入等を支援した。（17件）		
	東日本大震災災害支援活動補助金	関連事業	市民及び市内団体による東日本大震災の被災地及び被災者の支援活動に対する補助制度を創設する。			市民及び市内団体による東日本大震災の被災地及び被災者の支援活動に対する補助制度を創設した。（活用団体10団体）		
	陸前高田市復興支援事業	関連事業	東日本大震災で被災した陸前高田市で開催される陸前高田市復興街づくりイベントに、市及び商工会が協力して京丹後市物産販売店を出店する。			東日本大震災で被災した陸前高田市で開催される陸前高田市復興街づくりイベントに、市及び商工会が協力して京丹後市物産販売店を出店した。		
住民が 取り組む 事業	「沿線住民40万人の行動指針」KTRワンモア運動	関連事業	市民一人ひとりが現在の利用回数より1回多く利用し、利用者数の増加につなげる。					
	KTR甲山駅周辺清掃事業	関連事業	生徒会役員や野球部員らで話し合い、日頃利用している駅をきれいにしするため清掃作業を行う。					

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成23年度分）

団体名：京丹後市

プロジェクト名	快適・安全・交流都市形成プロジェクト		実施期間	H23～H26	テーマ	まちの安心・安全	新規・継続の区分	新規
住民が取り組む事業	花で彩る丹後大宮駅事業	関連事業	丹後大宮駅周辺の線路沿いに市の花であるトウテイランなどを植えるとともに、ホームの通路にも手作りのプランターを設置する。					
	企画列車運行事業	関連事業	KTRに宿のおかみさんが乗り込み、乗車された観光客をおもてなしする。(毎月第1土曜日実施)					
	KTR宿泊プラン開発事業	関連事業	KTRと宿泊、また、丹後のグルメをセットにした宿泊プランを開発する。					
	東日本大震災支援事業	関連事業	東日本大震災で被災した宮城県南三陸町歌津地域に赴き、避難所生活を余儀なくされている方たちに暖かい食事を提供するため炊き出しを実施する。					
	農業者の雇用ニーズ調査と炊き出し	関連事業	東日本大震災の被災者を支援するために現地に赴き、本市の農産物を使った炊き出しを行う。また、被災者に対し本市で農業を営む意思について調査する。					
	東日本大震災支援活動	関連事業	東日本大震災の被災者を支援するため、被災地で瓦礫の撤去、側溝の泥上げ、花壇づくり、河川清掃等を行う。					
成果指標①	成果指標の目標数値	市内7駅における年間利用者数 H22 435,148人→H26 現状維持又は増加		成果指標の実績値 (平成24年3月31日時点)		406,548人		
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	KTR利用促進に係る様々な取り組みを実施したが、利用者は減少傾向にある。				
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)			
成果指標②	成果指標の目標数値	高齢者の運転免許証返納者数及びKTR利用回数 H22 28人→H26 現状維持		成果指標の実績値 (平成24年3月31日時点)		23人		
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	高齢者の運転免許証自主返納者をKTR乗車券の進呈により後押ししたが、平成23年度は若干減少した。				
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)			
成果指標③	成果指標の目標数値	民間企業従事者の通勤定期券利用回数 H22 0回→H26 7,000回		成果指標の実績値 (平成24年3月31日時点)		0回		
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	KTR通勤定期券の利用促進を図ったが、市域が広域なため自動車通勤からの転換が図れなかった。				
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)			

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成23年度分）

団体名：京丹後市

プロジェクト名		快適・安全・交流都市形成プロジェクト		実施期間	H23～H26	テーマ	まちの安心・安全	新規・継続の区分	新規
成果指標④	成果指標の目標数値	シバザクラを管理するフラワーオーナー数 H22 0人→H26 増加			成果指標の実績値 (平成24年3月31日時点)		175人		
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	KTR沿線花いっぱい化植栽事業に賛同する市民が多数いたため。					
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	(理由)							(時期)
成果指標⑤	成果指標の目標数値	多重債務相談支援室相談者数の減少をめざす			成果指標の実績値 (平成24年3月31日時点)				
	成果指標の達成状況	—	(左の理由)						
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	(理由)							(時期)
成果指標⑥	成果指標の目標数値	犯罪及び交通事故発生件数の抑制をめざす			成果指標の実績値 (平成24年3月31日時点)				
	成果指標の達成状況	—	(左の理由)						
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	(理由)							(時期)
成果指標⑦	成果指標の目標数値	市設置防犯灯数 H22 3,220灯→H26 3,340灯			成果指標の実績値 (平成24年3月31日時点)		3,221灯		
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	集落間の夜間における犯罪防止と通行の安全を確保するために防犯灯を新設しているため。					
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	(理由)							(時期)
成果指標⑧	成果指標の目標数値	区設置防犯灯数 H22 8,213灯→H26 8,533灯			成果指標の実績値 (平成24年3月31日時点)		8,300灯		
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	地区等が集落内の夜間における犯罪防止と通行の安全を確保するために防犯灯を新設しているため。					
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	(理由)							(時期)

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成23年度分）

団体名：京丹後市

プロジェクト名		快適・安全・交流都市形成プロジェクト		実施期間	H23～H26	テーマ	まちの安心・安全	新規・継続の区分	新規
成果指標⑨	成果指標の目標数値	自主防災組織数 H22 98団体→H26 197団体			成果指標の実績値 (平成24年3月31日時点)		100団体		
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由) 着実に自主防災組織を育成しているため。						
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	(理由)						(時期)	
成果指標⑩	成果指標の目標数値	沿岸域避難所標高計測箇所数 H22 0か所→H23 77か所			成果指標の実績値 (平成24年3月31日時点)		77か所		
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由) 東日本大震災を踏まえ、津波による沿岸域避難所の標高を計画どおり計測できたため。						
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	(理由)						(時期)	
成果指標⑪	成果指標の目標数値	災害時応援協定団体の拡大をめざす			成果指標の実績値 (平成24年3月31日時点)				
	成果指標の達成状況	—	(左の理由)						
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	(理由)						(時期)	
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果	市民の安心と安全を確保するため、交通安全・防犯対策用に防犯灯の設置を推進した。また、東日本大震災被災者への復興支援や地域防災計画の修正、緊急防災対策事業による危機管理能力の育成に努めた。公共交通を守るための取り組みとして、KTRの利用促進事業を実施し沿線地域でKTRを守る機運を高めた。								
※未達成の場合も効果を記載すること	※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。								
本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果								
	府と市町村等との連携に資する成果								

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成23年度分）

団体名：京丹後市

プロジェクト名	快適・安全・交流都市形成プロジェクト	実施期間	H23～H26	テーマ	まちの安心・安全	新規・継続の区分	新規
本プロジェクトに対する自己評価	住民の自治意識を高める成果	地域が主体となり、集落内の危険箇所の総点検や老朽化している防犯灯の新設や改修を検討するなど計画・整備することで、問題意識を持ち自主的な取り組みができた。					
	リーディング・モデル成果						
	広域的波及成果						
	行財政改革に資する成果						
	その他の成果	KTR利用者の減少に歯止めを掛けるため、さまざまな利用促進事業を展開することで、公共交通利用の機運が醸成された。 まちの安心・安全のために多重債務問題や消費生活問題等について、専任相談員による相談窓口を設置し、多くの相談を解決した。					

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは―を記載すること。